

CARTE POSTALE

進徳丸

神戸が愛した練習船

～絵葉書で辿る、その数奇な運命～

2014年4月7日(月)

～9月19日(金)

きかは便郵

展示期間中の開館時間・休館日

期間	平日	土曜	日曜・祝日
4/7～6/30	9:00～21:00		休館 4/29は開館
7/1～8/6		8:45～21:00	
8/7～9/19 8/10～8/19は休館	9:00～18:00	9:00～17:00	休館

※開館時間や開催期間は変更になることがあります。
図書館 HP、掲示板にてご確認の上で来館ください。

船と絵葉書

日本郵船株式会社は、昔から客船に「御乗船記念絵葉書」を用意していました。携帯電話も普及していない時代、乗客はこの絵葉書を使って故郷へ連絡を取っていたそうです。デザインは細微で美しく、乗船している船や船内の様子を描いたものが多いようです。



絵葉書
ぎやらりー



日本的な絵柄と船の写真を組み合わせた印象的なデザイン。外国人の乗客には、日本の風景などを描いた和風のものが好まれました。

参考文献

- 『神戸商船大学五十周年記念誌』
神戸商船大学五十周年記念誌編集・刊行委員会編
神戸商船大学五十周年記念会, 1971.
- 神戸商船大学 海技実習センター 年報
- 「日本郵船・時の羅針盤・航跡・第34回【絵葉書】」
<https://www.nyk.com/yusen/kouseki/200410/index.htm>
(2014/3/8 アクセス)
- データベース JapanKnowledge

有瀬館にあります！
所蔵館：有瀬館
配置場所：新館2階兵庫
請求記号：377.28/KOB/K
資料ID：901920650



編集後記

進徳丸の絵葉書からは、乗り手の愛が伝わってくるような気がします。波の上を走る凛々しい姿の1枚、風景と併せて芸術的に描いた1枚、手書きの温もりがある1枚…。それぞれに進徳丸への思いが詰まっているのでしょう。戦争や震災などの困難を乗り越え、形を変えて今に残る進徳丸の面影。それは、「何とかしてこの船を残したい」という人々の思いが受け継がれてきた証なのだと思います。残念なことに、海上を航行する姿を見ることはもう叶いませんが、絵葉書を通して進徳丸の数奇な運命に思いを馳せていただければ幸いです。その他さまざまな乗船記念絵葉書も展示しておりますので、是非そちらもお楽しみください。

SeaScape

第16号 2014年5月発行

発行・編集 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館

〒650-8586 神戸市中央区港島1丁目1番3

出航 ◎

進徳丸は、関東大震災が起きた大正 12 年 (1923 年) の 7 月 28 日に三菱造船株式会社神戸造船所にて建造が開始された、神戸高等商船学校 (現・神戸大学海事科学部、海事科学研究科) の練習船です。同年 12 月 9 日に進水、翌 13 年 2 月 25 日に竣工してから、幾度もの遠洋航海に出て若手育成に貢献し、海外との懸け橋として活躍しました。

HISTORY

航海 ◎

昭和 19 年 (1944 年)、帆装が撤去され汽船練習船として新たにスタートした進徳丸は、太平洋戦争のさなかで物資の輸送などにも従事するようになります。その任に当たっていた昭和 20 年 7 月 24 日、米軍による爆撃を受け、沈没を避けるため任意座礁しました。この空爆により船体は全焼し、乗組員・実習生 6 名が犠牲になりました。

◎ 再出発

終戦から 1 年が経った昭和 21 年、進徳丸の引揚げ・修理が進められました。翌 22 年から再び海に出た進徳丸は、訓練航海や引揚げ輸送に従事していましたが、昭和 37 年 (1962 年) 12 月 20 日にその任を解かれ、代わって二代目汽船進徳丸が練習船としての役目を引き継ぎました。

◎ 現在

昭和 38 年 (1963 年) 3 月 31 日に廃船となり、昭和 42 年 (1967 年) 5 月 23 日まで摩耶埠頭に係留、その後神戸商船大学キャンパス内に陸揚げされました。以降、訓練生の学びの場として親しまれてきたが、平成 7 年 (1995 年) 1 月 17 日に発生した阪神淡路大震災で修復不可能なまでの被害を受け、やむなく解体されました。跡地には「進徳丸メモリアル」が造られ、その歴史を伝えています。



神戸高等商船学校の練習船として、遠洋航海に出ていた頃の絵葉書が多数残っています。学校名が入ったものや、何回目の遠洋航海かを記したものが多く、進徳丸で実習することへの誇りが感じられます。



進徳丸

DATA

要目	帆船時	汽船時
設計者	Lamage & Ferguson Co.	
造船所	三菱造船(株)神戸造船所	
総トン数(tons)	2518.42	2792.43
速力(knots)	汽走10.5	最強9.5 航海7.5
定員(名)	乗組員72 生徒120	乗組員72 生徒128

絵葉書に描かれた進徳丸は、帆船の姿であることが多いようです。海を渡る威風堂々とした様が、人々を惹きつけたのでしょうか。

汽船にするか、帆船にするか

進徳丸という練習船を建造するにあたり、最初に争点となったのが汽船 (蒸気を動力として動く船) にするか、帆船 (帆に受ける風の力を利用して走る船) にするかでした。

汽船案はおもに海軍が主張し、理由は、卒業後生徒が勤務する船は帆船ではなく汽船なのだから、帆船の練習は必要ないというものでした。対して練習船建造調査会委員の小関委員は、確かに卒業後生徒が勤務するのは汽船かもしれないが、在校中に海員としての基礎を養成するには、帆船で実習することが効果的だと帆船案を主張しました。結果、熱心に主張した小関委員の主張が通り、進徳丸は帆船となりました。

「進徳丸」の由来

進水式を行った大正 12 年 (1923 年) 当時の文部大臣、岡野敬次郎氏が命名しました。

大正 12 年 9 月 1 日に起こった関東大震災に対して、この年の 11 月 10 日に発布された「国民精神作興 (さっこう : 奮い立たせること) に関する詔書」の一節『智徳ノ併進』から付けられました。

当時の教育方針が、“知識の習得によって知能を高めることを目的とする教育”=智育の風潮にあったのに対し、“道徳心のある、情操豊かな人間性を養うための教育”=徳育の必要性を強調したものと伝わっています。

寄港地での歓迎

進徳丸は、大正 13 年から昭和 16 年の 18 年間で、34 回の遠洋航海に出ました。航跡は、アメリカ大陸の西海岸からオーストラリアまで、太平洋上に縦横に印されています。

寄港地ではさまざまな歓迎を受けました。第 15 次航海の際シドニーでは、乗組員は電車・渡船・動物園・博物館・映画館を無料で利用することができたため、実習生徒はタロンガ動物園でカンガルーと遊んだそうです。第 22 次航海で入港したオークランド (ニュージーランドの港湾都市) では、連日の招待攻めに逢い、船内で催した柔道・剣道・弓道・剣舞・ハーモニカ演奏会では、人々の拍手喝采を得たそうです。

進徳丸
うらばなし
メモ